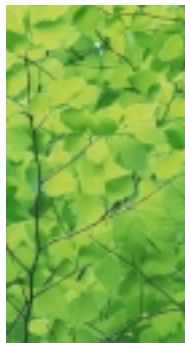


上越市立安塚中学校（新潟県）



1. 地域特性

豪雪地帯であることを活かし、「雪と緑と人を活かした全町公園」を基本理念に多彩な事業を展開して、地域の活性化に熱心に取り組んでいる。過疎化・少子化のため学校統合が行われ、最終的な統合は平成8年であった。廃校となった学校施設は、公営の宿泊施設、高齢者在宅施設、フリースクールなどに転用されている。（※注：調査は合併前、安塚町の時に実施している）

2. 事業の経緯

校舎の老朽化が進行する一方、生徒数が将来も増える見込みがないことから、時代にあった教育環境づくりを目指した。しかし、町の財政状況は厳しく、国庫補助対象の範囲内で行われることとなった。改築を行

うことは当初から念頭になかった。また大規模改造の基本方針が以下の通り定められた。

- ① 明るくゆとりと木のぬくもりのある学校
- ② 教科教室型運営方式に対応した教育環境
- ③ 少人数学習や調べ学習のできる学校
- ④ 地域の教育の拠点となる教育環境

平成13年度には、学識経験者、PTA代表、学校代表、地域代表、関係団体代表、議員代表、行政代表、設計者からなる「大規模改造検討委員会」が設置され検討を重ね、教科教室型運営方式実施校への視察派遣は、平成13年度にも3回を数えた。



外観



ランチルーム



交流ホール（子育てサロン）



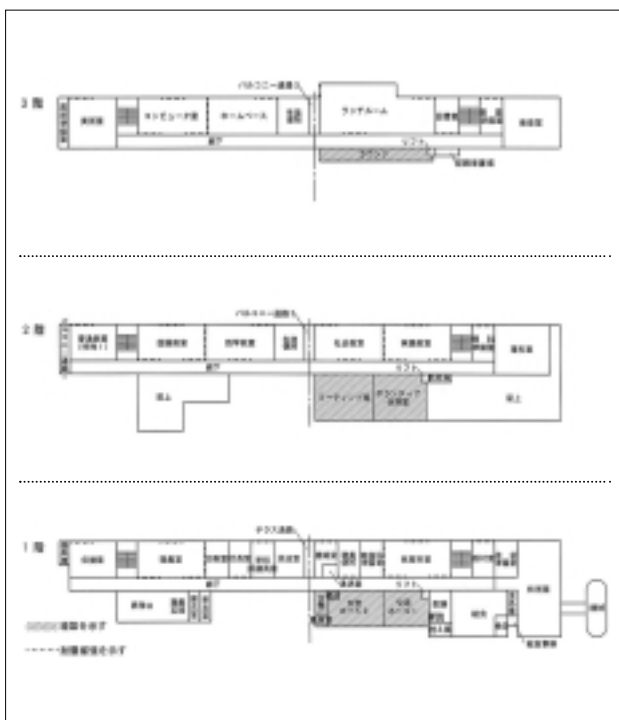
ホームベース

3. 事業の内容

主な事業内容は、耐震補強、屋根・外壁等の補修、設備更新、校内LAN設置等全般にわたって行なわれた。以下に整備の特徴を4点あげると

- ①普通教室の間の壁を撤去することにより、普通教室の1.5倍の広さを確保して、国語、社会、数学、英語の教科教室を整備（2階）
- ②教科教室型運営方式の導入のために、生徒の居場所としてロッカーを備えたホームベースを設置（3階）
- ③図書室と普通教室を改造し、全生徒が一堂に会することができるランチルームを設置（3階、図書室は移転、図書の一部は教科教室の教科コーナーに配置）
- ④「子育て広場」や「にこにこサロン」（生涯学習の場）を置くとともに、中学生のボランティア活動や生徒と地域の人々との交流の場となる、地域交流施設の複合化（1・2階）

また今回工事では体育館内部を仕切り仮教室が設けられ、プレハブ校舎なしで対応した。



各階平面図（改修後）

4. 成果と課題

安塚中の事例は新改築をしない場合でも教科教室型の学校運営を可能とする校舎を整備することができることを示したといえる。また学校の条件、地域特性や地域の様々な資源（人的資源も含めて）を生かして学校環境整備を推進する優れたモデルといえることができる。



国語教室



英語教室



社会メディアコーナー